

関係各位

財団法人インターネット協会
IPv6普及・高度化推進協議会
ISOC 日本支部（再活性化中）
WIDEプロジェクト

World IPv6 Dayのご案内

～WEBサイトをIPv6対応に～

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先ごろ、Internet Society（以下、ISOC）から発表された「World IPv6 Day」に関して、財団法人インターネット協会、IPv6普及・高度化推進協議会、ISOC 日本支部（再活性化中）、WIDEプロジェクトもこの活動を推進することとなりましたので、ご案内申し上げます。会員の皆様におかれましては、会員組織内外への周知をお願いします。

1. World IPv6 Dayとは

グーグル、フェイスブック、ヤフー、アカマイ、ライムライトネットワークスの呼びかけで開催される24時間の時限実験イベントで、ISOCの支援のもと実施されます。WEBコンテンツのメインサービスをIPv6対応させることで、IPv6の円滑な導入とその情報共有を目標としたIPv6対応の実証実験です。開催日時は2011年6月8日0時0分から23時59分（協定世界時）（日本時間6月8日午前9時0分から翌日午前8時59分）までの24時間です。

2. World IPv6 Dayの目的と意義

IPv4アドレス枯渇期を迎えたことをうけて、IPv6によるサービス提供に問題がないことを確かめ、問題があった場合にはそれを共有し、今後の課題解決に役立てることを目的としています。そのため、ISP、ハードウェアベンダ、OSベンダ、WEBコンテンツ提供企業など、インターネット業界に対して横断的に参加が呼びかけられています。IPv6によるサービスを考えている企業におかれましては、接続検証、カスタマケアを含んだトラブルシュート、情報提供、情報共有の場としてお役立て下さい。

3. 日本におけるWorld IPv6 Dayについて

日本国内の業界関係者に向けて、関係諸団体の支援のもと、有志による日本語の情報提供とISOCへの参加表明の取り次ぎを実施します。日本企業でもNECビッグロブ（BIGLOBE）が第一号で参加表明を行い、参加者リストに登録されています。

4. 「WEBサイトをIPv6対応に」キャンペーンについて

IPv6対応のWEBページを作成され参加表明された組織は、日本語と英語のWorld IPv6 Dayサイトにて参加者一覧の形でご紹介します。5.の手続きに従い、ご連絡ください。英語サイトへは掲載についての仲介を行いません。

■ 日本語サイトでの情報掲載

参加団体、企業からご提供いただいた情報をWorld IPv6 Day日本語サイトに掲載します。

- ・ 独自の実験をする、情報提供サイトを運用する、などの情報登録
- ・ カスタマーサポートなどの情報登録

5. キャンペーンの流れ

参加登録窓口へ(1)組織名(日本語名/英語名)、(2)URL、(3)新規開設/既存提供の区分、(4)ご連絡先電子メールアドレスおよびご担当者氏名、(5)その他(独自の取り組みなど)、をお知らせください。参加登録〆切は5/25です。

■ 当日までの作業とスケジュール

参加を表明されましたら、実験日当日までに、DNSのAAAA RR登録、対象(WEBやその他のサービス)のIPv6対応、事前確認を行ってください。IPv6接続サービスの導入が必要な場合には、開通までに時間を要する場合がありますので、ご注意ください。

	3月	4月	5月	6月
参加表明	○	○	○5/25	▲
DNS登録	→			
サイトのIPv6対応	→			
各WEBサイトでの評価				→

○参加者一覧への登録は、月ごとに受付し、その月の最終週に一括して行います。

6. 参考情報

- ・ ISOC World IPv6 Day サイト (<http://isoc.org/wp/worldipv6day/>)
- ・ 日本語 World IPv6 Day サイト (<http://www.attn.jp/worldipv6day/>)
- ・ IPv4 アドレス枯渇対応 TF IPv6 サービスリスト (<http://kokatsu.jp/blog/ipv4/data/ipv6service-list.html>)
- ・ IPv6 Ready Logo 取得製品リスト (<https://www.ipv6ready.org/db/index.php/public/>)
- ・ JP ドメイン名登録サービス指定事業者一覧 (<http://jpshop.jp/list/>)

■ 参加登録窓口

IPv6 普及・高度化推進協議会事務局 v6day@v6pc.jp

■ 本件に関するお問合せ先

財団法人インターネット協会 IPv6 デプロイメント委員会 v6day@iajapan.org

以上

■ 財団法人インターネット協会 (<http://www.iajapan.org/>)

インターネットの発展を推進することにより、高度情報化社会の形成を図り、我が国の経済社会の発展と国民生活の向上に資することを目的に活動する団体です。

■ IPv6 普及・高度化推進協議会 (<http://www.v6pc.jp/>)

慶應義塾大学村井純教授を会長に平成12年10月に設立。平成13年1月施行のIT基本法による「e-Japan重点計画」に明記された、すべての国民がIPv6インターネットを使えるようにするとの目的を実現するために、産官学の力を広く結集し最大限の貢献を果たすべく活動しています。

■ ISOC 日本支部(再活性化中)(電子メール isoc-jp-rejuvenation@venus.gr.jp)

The Internet Society の日本支部として、国内へのISOCの活動紹介と日本におけるインターネット関連の状況を世界へ発信するために現在再活性化中です。

■ WIDE プロジェクト (<http://www.wide.ad.jp/>)

WIDE プロジェクトは、インターネットの研究グループで、KAME で知られる BSD 系 OS の IPv6 プロトコルスタックの開発に携わり、15年間 IPv6 の標準化、プロトコルスタック開発、IPv6 のプロモーション活動を行ってきています。